



No.21-010
2021年 3月 8日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

厚木基地調査

「化学、生物、法写真及び核(CBRN)対応訓練」 危険な訓練は即時中止せよ 核兵器禁止条約に真正面から挑戦

基地のCバーン訓練地(土)現地説明する菅沼氏(下)



米軍は2月5日から9月31日までの8か月の長期にわたり、Cバーン訓練(化学・生物・放射能・核対応訓練)を厚木基地で行っています。この演習は、核兵器などの大量破壊兵器の使用を想定した実働演習です。

神奈川県平和委員会が3月4日、演習地の厚木基地を30人の参加で現地調査を行いました。菅沼幹夫・県平和委員会事務局次長と宮応勝幸・大和平和委員会会長が演習・訓練の内容を詳細に渡って報告・説明しました。

基地内の演習地は、危険な訓練内容が詳細に公表されてもおらず、基地フェンスを隔てて住宅密集であることから即時中止すべきです。

核、生物、化学兵器は禁止条約などで製造、保有、使用、移動などが禁止された国際法違反の兵器で、その使用を想定した演習は、国際法の理念を否定する行為で認められません。

この調査には安保中央からも参加しました。

米軍ヘリ 六本木で「タッチ・アンド・ゴー」

在日米軍ヘリ・シーホークが昨年8月21日昼、渋谷駅や六本木ヒルズ周辺を日本の航空法に違反する超低空で旋回するなどした後、六本木の米軍ヘリポートに着陸し、数十秒後に離陸するようすを毎日新聞(3/3付)が報道しています。

専門家によると、離着陸を5回も繰り返したことから離着陸訓練「タッチ・アンド・ゴー」と指摘しています。首都東京の人口密集地での飛行訓練は、大事故の危険性があり絶対許されません。政府は、日本の航空法を守るよう米国に抗議をおこなっていないことは重大問題です。



低空飛行の軍用機らしき大型航空機

軍用機のような大型機が2月24日、沖縄県本部町の海洋博公園と伊江島の間の海上で低空飛行されるのが確認されました。28日にも慶良間諸島周辺で、日の丸のような模様のある機体の低空飛行が目撃されていることを琉球新報が報道しています。記事によると、目撃した男性は、24日午後0時頃に1機が確認でき15分後に別の機体が飛来し、肉眼で見えていたがかなり低かった」と言います。同日には、同町瀬底島の周辺でも大型機の低空飛行が確認されています。慶良間諸島周辺では、2月28日にも渡嘉敷島と阿嘉島の間を通過し、慶良間島寄りに旋回し南下する胴体に日の丸のような模様がある航空機が確認されています。標高157mの慶良間島と同じくらいの高さで飛行していたと言います。自衛隊機が米軍の低空訓練と同じ訓練を行っているとするば許せません。

伊江島付近でも大型機の低空飛行 慶良間諸島では自衛隊機か？

在沖米軍縮小「当面50%めざす」 沖縄知事が数値目標

(朝日新聞2/17付より)

沖縄県の玉城デニー知事は16日の県議会で、本土復帰50年を迎えるにあたり、沖縄に約70%が集中する在日米軍の専用施設について「当面50%以下をめざす」と述べた。数値目標を掲げて日米両政府に基地の整理縮小を求めていく考えを示したものだ。基地の整理縮小について、沖縄県が数値目標を設定するのは初めて。定例会初日の所信表明で言及した。

玉城知事は、復帰50の大きな節目を来年に控えた現在も、国土の面積の約0.6%に70.3%の米軍専用施設が集中し、騒音や環境問題、事件・事故など問題が後を絶たないと指摘。「日米安全保障体制の必要性を理解する立場だが、沖縄の基地負担の状況は異常」と語った。日米が現在合意している返還計画についても触れ、「全て実施されたとしても、69%程度にとどまり、応分の負担には依然として程遠い」と述べた。